

こたえ ありと ほと

ひょうじゅん
標準 ①

2

はとが はを おとした。

1

ありが 川に おちた。

3

はとが とんで にげた。

4

おはなしの じゅんになるように、□に 1・2・3を
かきましよう。ウ イ ア
はとを たすけたかったから。
りようしと あそびたかったから。ア
おながが すいて いたから。
はとを たすけたかったから。

3

ありは、どうして りようしの 足を かんたのでしょう。あう
ものに ○を つけましよう。

木の

は
っ
ぱ

2

はとは、ありを たすける ために、なにを おとしましたか。

川

に おちた。

1

ありは、どこに おちましたか。

ありと ほと (イソップのおはなし)

ありが、川へ 水を のみに いきました。
ところが、ありは 足を すべらせて、川に おちて
しまいました。
「たすけて。」
それを 見た はとは、木の はを 一まい
ちぎって、川に おとしました。ありは その はっぱに
のぼって、たすかりました。
つぎの 日、てっぼうを もった りようしが、はとを
ねらって いました。それに きが ついた ありは、
りようしの 足を ちくりと かみました。
「いたい。」
りようしが とびあがった すきに、はとは とんで
にげました。

おうちの方へ

- 2は「は」「木のは」でも正解です。3は、まえに はとに たすけて もらった ことを 思い出させましよう。